

1 集合日時・場所

令和元年11月17日(日) 12時15分 JR中津川駅改札出口

※ 名古屋→中津川(快速) 名古屋駅発10:46 中津川駅着12:07

※ 中津川駅にて昼食後、直通バスで苗木遠山史料館へ(往復で800円)

直通バス 中津川駅13:15→遠山史料館13:30

2 苗木遠山史料館(30分) ～ ボランティア案内 セット料金(9人未満500円)

(入館料金320円、JAF会員証があれば270円に割引)

苗木遠山史料館は、国指定史跡「苗木城跡」のふもとに、中世・戦国時代から明治時代初期にいたる、苗木領の歴史的な文化遺産を保存・公開し、調査・研究に資することを目的に設置された。ここでは、苗木遠山家の資料を中心に、苗木領と苗木城にかかわる貴重な諸資料を展示している。

中世の苗木郷は、現在の中津川市苗木・坂下・福岡・蛭川地区が含まれていたと思われる。鎌倉時代より地頭としてこの地を治めていた遠山氏は、戦国時代になると高森山に城を築き、織田氏・武田氏と縁戚関係を結び、勢力を広げた。遠山氏は一時城を追われ徳川氏に身を寄せた。「関ヶ原の戦い」で領奪還を命じられ、苗木城を取り戻し、この功績により旧領奪還を命じられ、苗木領一万石を賜った。

これにより遠山氏は苗木領主として、初代友政から12代友禄にわたり一度も国替えがなく、江戸時代を通してこの地を治めた。一般的に一万石の大名は城を持たず陣屋に住んだが、幕末期の大名のうち苗木遠山氏のみが城持であった。

3 苗木城跡(60分) ～ ボランティア案内

苗木城跡の城域は、城郭の主要部である内郭部も含めると約38万㎡に達し、その内156.774㎡が昭和56年4月22日、国の史跡に指定された。城址、郭は、市内を東西に流れ貫く木曾川の右岸、一段と高くそびえる城山(432m)にある。木曾川から山頂の天守跡までの標高差は約170m、自然の地形を有効に生かして築かれた山城である。

苗木城の築城時期については、一説に1526年(大永6年)頃とされている。苗木城の特徴としては、岩山という地形に制約され、利用できる土地の確保がであったため、巨岩等を利用した建物の構築方法(懸造・カヅクリ)があったこと、また石垣には多種類の積み方が見られることがあげられる。

4 中津川駅への移動(直通バス15:25発で中津川駅着15:40)

※ 中津川駅発15:50又は16:20 → 名古屋駅着17:18又は17:38

5 懇親会(参加自由、会費5,000円)、参加されない場合は事前申し出を名古屋駅前の「旬蔵」で開催(17:30～19:30)

